

スタンド#500(MR)性能値



(株)エーアンドエーマテリアル  
建材営業部 営業グループ

項目	スタンド#500MR		試験方法等
使用基材	1.0繊維混入けい酸カルシウム板		
化粧層	特殊アクリルウレタン樹脂系抗菌性塗料		
厚さ	8±0.4mm		
かさ密度 g/cm <sup>3</sup>	0.90以上1.20未満		JIS規格値(JIS A 5430)
吸水による長さ変化率	タテ	0.15%以下	JIS規格値(JIS A 5430)
	ヨコ	(0.15%以下)	参考値
曲げ強さ	タテ	13.0N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS規格値(JIS A 5430)
	ヨコ	(7.0N/mm <sup>2</sup> 以上)	参考値
曲げヤング率	タテ	(9 × 10 <sup>3</sup> N/mm <sup>2</sup> )	参考値(JIS A 1408)
	ヨコ	(5 × 10 <sup>3</sup> N/mm <sup>2</sup> )	参考値(JIS A 1408)
曲げ破壊時たわみ	タテ	(11mm)	参考値(幅40cmm、スパン40cmm時)
	ヨコ	(8mm)	
1. 耐水性	◎	異常なし	JIS K 5600に準じる。 試験体サイズは70 × 150mm 40 ± 1℃の水中に試験体をコバ立てて、完全に浸漬させて10日間保持する。10日経過後に、試験体を取り出し、60℃24時間乾燥を行い塗膜外観、色差、二次密着性を確認する。
2. 耐薬品性			JIS K 5600に準じる。 試験体を塗膜表面に滴下し、時計皿で24時間被覆する。24時間後に塗膜表面を水洗いし、外観を確認する。
塩酸(5%)	◎	◎痕跡無 ○微痕跡	
硝酸(5%)	◎		
酢酸(5%)	◎		
水酸化ナトリウム(5%)	○		
メチルエチルケトン(原液)	○		
トルエン(原液)	◎		
酢酸ブチル(原液)	◎		
白灯油(原液)	◎		
次亜塩素酸ナトリウム(原液)	◎		
塩化ベンザルコニウム(0.02%)	◎		
局方フェノール(5%)	○		
クロールヘキシジン(0.02%)	◎		
エチルアルコール(原液)	◎		
3. 耐汚染性			塗膜表面に汚染物質を付着させ、時計皿で被覆し、24時間後に塗膜面を傷つけない脱脂綿等に台所中性合成洗剤で拭き取る。汚染物質を除去後、目視により塗膜への着色有無を確認する。
植物油(天ぷら油)	◎	◎痕跡無 ○微痕跡	
醤油	◎		
ソース	◎		
紅茶	◎		
塩水	◎		
煙草のヤニ	◎		
クレヨン	◎		
乾墨	◎		
鉛筆	◎		
インキ	○		
マジックインキ	○		
4. 化粧層密着性			JIS K 5600に準じる。 セロハンテープ剥離 エタノールで試験面を拭き取った後、カッターガイドを用いて基材面に達する切り傷を基底目状につけ、4 × 4mm角のマス目を16個作る。JIS Z 1522に規定するセロハン粘着テープを完全付着させ、引き剥がして塗膜の剥がれ有無を評価する。
1) セロハンテープ剥離	◎	16/16 (剥がれなし)	
5. 耐摩耗性	◎	基材露出なし	摩耗試験装置を用い、水平面と45度の角度を持つように塗膜面を上にして保持した試験体のほぼ中央部に400mmの高さから、JIS R 6111(人造研削材)に規定する炭化珪素研削材20の粒度20番を3分間連続で落下させた後、付着物をよく払って基材露出の有無を確認する。
6. 耐熱性	◎	異常なし 色差 ΔE ≤ 3.0	140 ± 5℃維持したかき混ぜ機付乾燥機中に塗膜面を上に向けた状態に入れ、3時間保持する。加熱終了後、試験体を乾燥機中より取り出し、室温に達するまで静置する。目視により塗膜の状態を観察する。
7. 鉛筆硬度	3H	—	JIS K 5400に準じる。JIS K 5600の規定。
8. カビ抵抗性	—	—	基材のけい酸カルシウム板はアルカリ性の為、カビ抵抗性はあると考える。
9. 抗菌性	—	抗菌活性値 2.0以上	JIS Z 2801に準じる。(黄色ブドウ球菌、大腸菌、MRSA)
10. 難燃性または発熱性	—	発熱性1級 国土交通大臣 不燃認定: NM-3455	